新郡市医師会長の紹介

医師会長就任のご挨拶

北部檜山医師会

会長　中島（なかじま）　一貴（かずたか）

2026年４月、前会長の川岸直樹先生に代わり医師会長に就任しました。函館市出身、金沢大学卒業後、札幌医科大学第三内科に入局、呼吸器科医として道内の医療機関で勤務、2024年７月からせたな町立国保病院に勤務しております。40代半ばで始めたランニングからマラソンにはまり、さらにトレイルランニングにも魅せられ、年に数回道外も含め大会に出場しましたが､コロナ禍で大会自体もほぼなくなり､以降は運動不足の日々を過ごしています。この地域は少し走ると自然豊かなトレイルにたどり着きますが、近年熊による多くの被害が報じられていることもあり、こちらでは山へ向かうことはなくなりました。昨年は、猟師さんたちの尽力により例年の倍以上の熊が駆除され人的被害は幸いにもゼロ、本当に頭が下がる思いです。

当医師会には北部檜山のせたな町と今金町の３病院と３診療所が所属、約10,500名の住民を常勤医９名で診療しております。最近５年間で人口は約2,000人減少、高齢化はさらに進み、また医師数も退職や閉院もあったため大幅に減少しているのが現状です。この地域は道南地方でも北部に位置し函館市内の高次医療機関まで搬送する場合、２時間以上かかるため、救命救急時にはドクターヘリが不可欠です。昨年度は20件弱、救命いただき大変お世話になりました。

国は、2040年を見据え、人口減少、高齢化が進んでも住民が安心して暮らし続けられる持続可能な医療体制の構築を目指しています。機能分化した医療機関との連携のもと、高齢者の多い当地域のニーズに応えるべく訪問診療・訪問看護を含め在宅支援をさらに充実させて介護サービスとの連携強化を図ること、またデジタル活用して遠隔診療や情報共有していくことで限られた人的資源でも医療体制を維持しつつ次世代へしっかりとつないでいけるよう努めていきたいです。

医師会長就任のご挨拶

岩内古宇郡医師会

会長　小林（こばやし）　修三（しゅうぞう）

岩内町は積丹半島の付け根にある人口１万人ほどの小さな町ですが、私は現在ここで整形外科医院の院長をしております。大学卒業後、整形外科学教室に入室し、これまで関東や関西の病院で研修をしてきました。専門は肩関節で、大学病院では主に反復性肩関節脱臼の手術を数多く執刀してきました。もともと父が岩内町で整形外科医院を開業していたのですが、先代も高齢となったため、２代目として平成22年12月から現職に就いております。

この度、令和８年５月に行われた定時総会にて岩内古宇郡医師会の新会長に推挙されました。当医師会には現在11名のＡ会員が在籍しておりますが、なかなか適当な人材がおらず、不肖ながら私が引き受けさせていただくことになりました。私はこれまで10年以上医師会に所属しており理事も経験してきたものの、お恥ずかしい話ですが医師会の仕事を十分に理解していなかったかもしれません。歴代の会長と比べて経験的にも人間的にも劣ることばかりで、正直なところ申し訳ない気持ちが多分にあるのですが、医師会長になることで新たに見えてくるものがあるかもしれませんし、臨床以外の様々なことを勉強させていただく良い機会と考え受諾させていただきました。

私が医師になったころと比べて、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。2026年上半期における医療機関の倒産は過去最多との報道もあり、自院を維持していくことも簡単なことではありません。昨今の厳しい社会情勢の中、医師会が今後どうあるべきか、その存在意義が問われてくるでしょう。地方の医師会長にできること、期待されることは少ないと思いますが、広い視野と緊張感を持ちながら会長職を務めさせていただく所存です。不慣れなことばかりで会員の皆様方にご負担をかけることがあるかもしれませんが、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

釧路市医師会

会長　杉元（すぎもと）　重治（しげはる）　先生

令和８年６月、柴田香織前会長の後任として杉元重治先生が第16代の釧路市医師会会長に就任されました。

先生は、北海道釧路市の杉元内科医院の理事長・院長として、地域医療に長年携わっておられる医師です。

昭和44年札幌市生まれ。釧路湖陵高等学校を卒業後、藤田保健衛生大学医学部（現・藤田医科大学）を平成７年に卒業され、北海道大学第２内科に入局。その後、苫小牧市立総合病院、北見赤十字病院、苫小牧王子総合病院、釧路赤十字病院勤務を経て平成21年５月より杉元内科医院で診療にあたっておられます。ご専門の消化器疾患を中心に、内科系の幅広い診療に取り組まれています。

杉元先生は「地域のかかりつけ医」として、患者様が身近に何でも相談できる医療を大切にされています。また、在宅医療や救急医療、地域の医療・介護連携にも積極的に取り組み、釧路の地域医療を支える存在として活動されています。

釧路市医師会では平成24年より理事に就任され、令和６年からは副会長を務められ、柴田前会長を補佐し医師会活動に尽力されてきました。

さらに、NPO法人CCL（くくる）の代表として、保健・医療・福祉に関わる地域住民や専門職、関係機関をつなぎ、誰もが安心して暮らせる地域づくりにも取り組まれています。

日々の診療だけにとどまらず、地域全体の健康と暮らしを支えることを大切にされている杉元重治先生は、患者さん一人ひとりに寄り添う「かかりつけ医」として、また地域医療を牽引する医師として、釧路の医療・福祉に幅広く貢献されています。

私は杉元会長と中学・高校の同窓で、公私ともに親しくお付き合いさせていただいております。会長の掲げる医療・福祉体制の実現に向け、これからも会長を補佐させていただきます。

今後はますますお忙しい日々が続くと思いますが、健康には十分に注意されこれから長く会長職を全うしていただきたいと思います。

たまにはストレス解消に飲みに行きましょう。

釧路市医師会副会長　伊藤　英司

北海道医報ファイルについて

北海道医報本誌を１年分綴ることができるファイルを用意しております。

ご希望の方に無償にてお送りいたしますので、下記まで送付先ならびに希望数をご連絡ください。

記

申込先：北海道医師会事業第一課
〒060-8627　札幌市中央区大通西６丁目
TEL 011-231-7661　FAX 011-241-3090
E-mail　ihou@m.doui.jp

感染症関連情報

感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へ－感染症情報」に掲載しています。

ＵＲＬ：http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html